

Green Festival 2006

第242回

10月21日(土) 15:00 開演

●長谷川陽子 チェロ・リサイタル

ピアノ/仲道祐子

第243回

11月4日(土) 16:00 開演 (開演時刻にご注意下さい)

●村本麻里子 ピアノ・リサイタル

第244回

11月11日(土) 15:00 開演

●仲道郁代 ピアノ協奏曲の午後

指揮/ゲルハルト・ボッセ 管弦楽/神戸市室内合奏団
—ベートーヴェン ピアノ協奏曲全曲連続演奏 第3回—

第245回

11月18日(土) 15:00 開演

●林泉弦楽四重奏団 コンサート

ヴァイオリン/林 泉 ヴァイオリン/宮下和子 ヴィオラ/賤津 進 チェロ/林口眞也
—ベートーヴェン 弦楽四重奏曲全曲連続演奏 第6回—

第246回

11月23日(木・祝) 17:00 開演 (開演時刻にご注意下さい)

●神戸学院大学チアリーダー部 第14回 Dancing EXPO 2006 ~MAX HEARTS~

第247回

11月30日(木) 17:00 開演 (開演時刻にご注意下さい)

神戸学院大学地域研究センター企画

●演劇公演『カプチーノの味』

作=喻栄軍(中国) 訳=中山 文(本学教授) 演出=岩崎正裕 出演=森本研典・岸部孝子

第248回

12月3日(日) 15:00 開演

●神戸学院大学管弦楽団 第12回定期演奏会

指揮/松井隆司 独奏/薄井信介(チェロ)

第249回

12月9日(土) 15:00 開演

●風呂本佳苗 ピアノ・リサイタル

第250回

12月23日(土・祝) 15:00 開演

●神戸学院大学学生放送局 第29回放送祭~扉~

入場無料

会場/神戸学院大学(有瀬キャンパス)メモリアルホール(9号館) 主催/神戸学院大学 後援/兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団 参加/関西元気文化圏

- お申込方法 ◎往復ハガキを使用してください。私製ハガキや2枚のハガキの貼り合せは避けて下さい。申込者多数の場合は抽選になります。
- ・往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
- ・返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
- ・返信裏面は空白のままお願いします。
- ・1枚につき1公演、1名様のみのお受付とさせていただきます。
- ・受付期間は各公演の1カ月前~2週間前(必着)です。
- ・学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。

- お申込み・お問い合わせ先
〒651-2180 (郵便番号のみで到着します)
神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-1607(担当課 学生生活課)
- 交通経路と所要時間
① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約20分)
② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約15分)
③ JR「朝霧」駅より「神陵台行」バスに乗車、終点下車後徒歩約12分
※お車のご来場は固くお断りいたします。

~個人情報取扱いについて~

入場申込往復ハガキにご記入いただいた個人情報は、申込内容の電話での確認、入場券の発送(抽選の場合の結果通知を含む)、申込み状況の統計分析に限って使用します。

インターネットホームページ <http://www.kobegakuin.ac.jp/> 神戸学院大学 [地域とともに]

関西から
文化力
POWER OF
CULTURE



長谷川陽子 チェロ・リサイタル

- 曲目 ●ミヤスコフスキー……チェロ・ソナタ 第2番 イ短調 作品81
- シャポーリン……エレジー
- ラフマニノフ……2つの小品 作品2
- ルク……チェロ・ソナタ へ長調

レジデント・アーティストの長谷川陽子さんがお好みのソナタをあるテーマにまとめて披露して下さる企画の5回目。当初、この企画は5回で完結の予定でしたが、もう1回増やすことになったので、最終回に予定した「3大B」は明年に廻し、今回は「知られざる名ソナタ」としてロシアとベルギーから1曲ずつ選びました。ミヤスコフスキーは陽子さんが昨年手からけられており、知名度の低い作曲家ながら、なかなかよい曲です。ルクは名品ヴァイオリン・ソナタを数年前にご紹介しましたが、チェロ・ソナタをご存知の方は少ないでしょう。もっと知られてよいこの大曲に20回目登場の陽子さんが初挑戦します。3回目登場の仲道祐子さんとは度々共演しておられ、息の合ったアンサンブルをお楽しみください。

村本麻里子 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ●シヨパン……3つのマズルカ イ短調 作品59-1、変イ長調 作品59-2、嬰へ短調 作品59-3
- ケンプ……ピアノ・ソナタ 作品47
- シヨパン……バラード 第1番 ト短調 作品23
- ブラームス……ピアノ・ソナタ 第3番 へ短調 作品5

地元出身の将来性ある若手をご紹介するシリーズのひとつ。村本さんは東京芸大卒業後、シュトゥットガルトで学ばれました。昨年春の林泉弦楽四重奏団の会で、ベートーヴェンの珍しい四重奏曲の原曲を弾いていただきました。今回は単独のリサイタルで往年の巨匠ヴィルヘルム・ケンプの作品を当方からお願いし、メインにはまだフェスティバルに出ていない曲をと注文しましたら、ブラームスのソナタを選んで下さいました。活きのいいブラームスの青春の表現をお楽しみください。

仲道郁代 ピアノ協奏曲の午後

- 曲目 ●ベートーヴェン……序曲「コリオラン」 作品62
- ベートーヴェン……ピアノ協奏曲 変木長調 Wo.0.4
- ベートーヴェン……ピアノ協奏曲 第3番 八短調 作品37

一昨年から始まったベートーヴェンのピアノ協奏曲(全8曲)の連続演奏の3回目。先年演完了ピアノ・ソナタ全32曲の時にめもろら反響を呼んでいます。ポッセ氏と神戸市内合奏団の好サポートも見逃せません。今回は作曲家がまだ生地ボンに在る時代の変木長調協奏曲をご紹介します。お客様から教えていただいたのですが、終楽章のテーマは宮崎駿の「千と千尋の神隠し」に使われているとのこと。未熟さはあるものなかなかチャームングなこの曲の実演に接する貴重な機会です。

林泉弦楽四重奏団 コンサート

- 曲目 ●ベートーヴェン……弦楽四重奏曲 第10番 変木長調 作品74「ハーブ」
- ベートーヴェン……弦楽四重奏曲 第7番 へ長調 作品59-1「ラズモフスキー」

2004年春から始まった好評のベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲の連続演奏第6弾。前回は弦楽四重奏がお好きな多くの方々から高い評価のアンケートをたくさんいただきました。ゴールも近くなって来た今回は中期の傑作を2曲お楽しみください。

神戸学院大学チアリーダー部 第14回 Dancing EXPO 2006 ~MAX HEARTS~

今季からグリーンフェスティバルに参加することになりましたチアリーダー部「SEAGULLS」です。Dancing EXPOは、私たちが毎年行っている単独公演で、チアステージはもちろん、Hip Hop、Jazz、バレエなど様々なジャンルのダンスを盛り込んだ企画ステージがあります。私たちの一年の集大成でもあり、企画・構成・音楽・振り付けなど全てメンバーで考えたオリジナルのステージです。今回のテーマでもある「MAX (最大の) HEARTS (感謝・団結力)」を皆さんにお届けします。

演劇公演「カプチーノの味」

- 作 諭栄軍 (中国)
- 訳 中山文 (本学教授)
- 演出 岩崎正裕
- 出演 森本研典、岸部孝子

学外から招く公演だけでなく、大学が主体的に作品を創造し、上演することはできないだろうか。そう発想して、本学の地域研究センターが企画を立て、関西の演劇人に呼びかけ、協同で一本の作品を創りあげました。それが今回の「カプチーノの味」です。中国上海の若い劇作家諭栄軍が書いたこの作品を、まず大学の中山文教授が日本語に翻訳し、劇団・太陽族の岩崎正裕氏が演出を担当。そして関西小劇場界で活躍する森本研典さんと岸部孝子さんが主役の男と女を演じます。中年にさしかかった男と女が人生を振り返り、あらためて自分の生きる意味を探そうとするストーリー。ご覧になった誰もが、心温まる、あるいは切なくなる「カプチーノの味」を、神戸学院大学から発信します。

神戸学院大学管弦楽団 第12回定期演奏会

- 曲目 ●グリンカ……歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
- ドヴォルジャーク……チェロ協奏曲 口短調 作品104
- ベートーヴェン……交響曲 第5番 八短調 作品67

グリーン・フェスティバル出演4年目の今回は久しぶりに協奏曲を加えました。独奏の薄井信介氏は本学人文学部の卒業生。6歳からチェロを習い、本学卒業後東京音楽大学へ進み卒業して、昨年末に東京シティフィルハーモニックに入団、活躍中です。後輩と共演できるのは嬉しいこととおっしゃって、忙しいオーケストラのスケジュールをやりくりして下さいました。

風呂本佳苗 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ●ウォーロック……フォークソング・プレリュード
- プリトゥン……夜の小品
- パダルジェフスカ……乙女の祈り
- ベートーヴェン……エリーゼのために
- ランゲ……花の歌
- ジョプリン……エンターティナー
- シヨパン……夜想曲 作品9-2
- ドビュッシー……月の光
- パークレー……6つの前奏曲
- ティベット……ピアノ・ソナタ 第2番
- ネック……クシコス・ポスト
- シュペルト……軍隊行進曲
- モーツァルト……トルコ行進曲
- エステン……アルプスの夕映え
- シューマン……トロイメライ
- J.シュトラウス……美しく青きドナウ

一流ホールで行っているような企画は逆立ちしても無理ですから、そんなところで余りやらない物と考えているゲテモノ好きの担当者がヒネ出した珍企画はご覧のようなピアノのおけいこの発表会に並ぶ超ポピュラー曲。こんな曲は普通、プロのアーティストに頼めません。無理を言って風呂本さんを説き伏せました。前半はあえて対照的なほど知られていない現代ものをと悪癖したり、ご在住のイギリスものが並びました。尚、このようなプログラミングですが、就学前のお子様のご同伴は固くお断り申し上げます。

神戸学院大学学生放送局 第29回放送祭 ~扉~

- 録音劇……色鮮やかな光と臨場感あふれる声でお贈りする音のストーリー
- 演 出……放送祭の中での管休め。他とは一味違う世界をお楽しみください。
- 生 劇……アナウンサーの声と効果音が織り成す朗読劇。彼らの声にご注目ください。

個性派揃いの我々学生放送局が一年間の集大成として披露する放送祭。放送祭とは、録音劇、演出、生劇の三部から構成されており、それぞれで「放送という一見広がりがないカテゴリを如何に発展させるか?」という大きな課題に取り組みます。今年度は「扉」をテーマに持てる個性を限界まで発揮し、ご来場いただいた皆様を大いに楽しませ、放送における魅力と醍醐味をご堪能いただきたいと思っております。ぜひご来場ください。